

平成29年度 夏季実習生受入予定一覧表

番号	グループ名	実習内容	受入可能期間	受入れ人数	備 考
1	水環境研究グループ 河川生態チーム	河川水中の環境DNAの基本的な動態を調べるために、室内還流水路を用いた実験を行う。 実験対象とする魚を暴露した後、実験水中における環境DNAの継続的な変化をとらえるために、一定間隔で採水、環境DNAの抽出、得られたDNAの分解程度の計測を行い、傾向を取りまとめる。	平成29年8月21日～9月21日 ※上記期間の内、1～2週間	1～2	※留学生の場合は日本語もしくは英語での意思疎通が可能であること。
2	道路技術研究グループ 舗装チーム	環境舗装、アスファルト舗装、コンクリート舗装に関する基礎的研究として、道路舗装の材料試験、路面性状の測定、構造解析並びに現場があれば調査・視察、なども行う。	平成29年7月初旬～9月30日 ※最低2週間から受け入れ可	2	※留学生不可。
3	道路技術研究グループ トンネルチーム	①山岳トンネルの形状に関する検討 模型実験と数値解析を実施し、山岳トンネルの形状に関する検討を行う。 ②山岳トンネルの契約規模に関する分析 既往の文献を調査し、山岳トンネルにおける施工条件（延長、形状、断面積、地質、補助工法の有無等）と、契約規模に関する分析を行う。	平成29年7月24日～9月8日又は 平成29年9月18日～9月29日 ※最高2週間まで受け入れ可	1	※留学生の場合は日本語による意思疎通が十分可能であること。
4	材料資源研究グループ （先端材料）	①コンクリート補修・防食材料（表面被覆材等）の物性・耐久性等評価試験 ②下水防食用のライニング材料の耐久性評価試験 ③あと施工アンカーの評価試験 ④舗装用材料の評価試験 （上記のいずれか。対象材料は本人との相談により決定）	平成29年7月初旬～9月30日 ※最低2週間から受け入れ可	3	※担当者の都合及び作業内容により受け入れ出来ない期間があります。 ※土木学会全国大会中（9/11～9/13）は受け入れ出来ません。
5	材料資源研究グループ （汎用材料）	骨材評価方法の検討 （再生骨材の品質評価試験の実施、試験結果とりまとめを予定）	平成29年7月18日～9月8日 ※最低2週間から受け入れ可	1	※留学生の場合は日本語による意思疎通が十分可能であること。

※研究企画課夏期実習生担当：西村（TEL：029-879-6751、mail：kikaku@pwri.go.jp）